

障がい者制度改革推進会議総合福祉部会意見書

提出委員名： 奈良崎 真弓

障がい者総合福祉法（仮称）制定までの間において当面必要な対策について

- (1) 障がい基礎年金について
 - ① 子供の時から年金がほしい 理由－学校に行くのに交通費がかかるから
 - ② 障がい基礎年金が少なすぎる 理由－もし、障がい基礎年金だけでは、一人暮らしができない
- (2) 相談する場所について
 - ① 相談する人がどこにいるのかわからない 理由－情報が無い
 - ② 本人会の支援者に相談ができるのか 理由－本人会の活動の支援だけで目一杯
- (3) 仕事のこと
 - ① 自分が好きな仕事を見つけ出すのが大変 理由－障がいだから、できないと決めつけている
 - ② 仕事をやめる人が多い 理由－人間関係、障がいの理解が足りない アドバイス－ジョブコーチの人数を多くする
- (4) 法律(障害者自立支援法)について
 - ① 私は嫌い！ 理由－高齢者も年を取ってから足などで障がいになったり、交通事故などで障がいになることもわかるけれど、私たち(知的障がいやダウン症)は、生まれながら、障がいを背負って生きているので、各障がいごとに配慮した法律を！ 介護保険みたいに似たような制度をやめてほしい
 - ② 私たち(知的障がいやダウン症)にも会議に！ 理由－単に会議に呼ぶのではなく、発言をしたり、わかりやすい言葉で書類を作る。話し合ったことを書いたり、まとめるのが苦手なので、支援者をつけるなど。
- (5) 生活(住む場所)について
 - ① 自分の好きな場所で住みたい 理由－今は、家族と一緒に暮らしているが、将来に親亡き後に生きていくために今のうちに訓練の場を作ってほしい。

以上